

Mマガジン・サポーター (店舗情報の詳細は「音楽好きな友の会」公式サイトにてご確認ください)

●公共機関

- 区役所 中原区役所5Fなかはらっば 中原区小杉町3-245 Tel.044-744-3113
会館 川崎市国際交流センター 中原区木月祇園町2-2 Tel.044-435-7000
会館 川崎市生涯学習プラザ 中原区今井南町28-41 Tel.044-733-5560
会館 かわさき市民活動センター 中原区新丸子東3-1100-12 Tel.044-430-5566
郵便局 川崎井田郵便局 中原区井田中ノ町25-1 Tel.044-766-9724
川崎ブレイメン通郵便局 中原区木月1-31-5 Tel.044-455-1800
川崎木月郵便局 中原区木月住吉町11-12 Tel.044-411-9800
川崎木月大町郵便局 中原区木月大町11-17 Tel.044-722-3617

●元住吉西口(ブレイメン通り/井田中ノ町商店街通り)

- 果物 フルッコ 中原区木月1-35-1 Tel.044-433-3338
音楽教室 SouleaveMusic School 中原区木月伊勢町10-1 三起ビル302 Tel.044-750-8992
介護センター みずたま介護ステーション元住吉 中原区木月1-35-7元住吉GSビル2F Tel.044-430-6963
カフェ 水谷珈琲 中原区木月1-32-16 1F Tel.044-577-4288
花屋 Bianca 中原区木月1-26-19 Tel.044-422-7015
鉄板焼 ゆうき亭 中原区木月1-28-16 Tel.044-434-6999
ヘアサロン キャメル ヘアーデザイン 中原区木月1-32-10中嶋ビル1F Tel.044-872-7375
パン リップル 中原区木月3-10-20 Tel.044-863-6554
カイロ、整体 ABCカイロプラクティック 中原区木月3-20-16 柳沢ビル 1F Tel.044-434-4342
コーヒー専門 MUI(旧 もとえ珈琲) 中原区木月3-13-2 Tel.044-767-1368
カフェ フォレストコーヒー 中原区井田中ノ町33-1 Tel.044-754-1156
接骨院 井田中倉堂・栗山接骨院 中原区井田中ノ町6-27 Tel.044-766-0850
コミュニティカフェ イダカフェ 中原区井田中ノ町33-9 Tel.044-799-7127
時計・貴金属 つだとけいてん 中原区井田中ノ町33-2 Tel.044-766-6022
広告制作 アルケファクトリー 中原区井田中ノ町33-7 Tel.044-797-2430
ヘアサロン 池照間 中原区井田中ノ町8-1 Tel.044-797-5692
理容室 Hair Salon Airs 中原区井田中ノ町8-2 Tel.044-755-0273
コインランドリーマンマチャオ元住吉店 中原区井田中ノ町4-1 メゾンアッシュ Tel.0120-027-217

●元住吉東口(オズ商店街通り)

- カフェ cafe OrangeBlue 中原区木月住吉町7-48-101
介護センター ツクイ川崎中原 中原区木月2-8-5 Tel.044-431-0027
調剤薬局 綱島街道薬局 中原区木月2-16-10 Tel.044-750-0374
飲み喰い処 粋い仙ん 中原区木月2-20-47 Tel.044-411-8980
古本・CD 凸つと凹つと 中原区木月2-10-3
イタリア料理 自在屋 中原区木月4丁目10-6 Tel.044-433-5644
STEAK ステーキグラム元住吉店 中原区木月住吉町7-7 Tel.044-433-4129
お茶 金子園 中原区木月2-2-36 Tel.044-411-5877
ステーション ENEOSダイヤ商事 中原区木月住吉町21-1 Tel.044-411-5863
サンドウィッチ ベトナムウィッチThao's 中原区木月2-1-1 Tel.044-982-3299
鍼灸院 和式整体&整心の『響氣』 中原区木月2-3-35 住吉名店センター401 Tel.044-433-2880

●元住吉近郊

- 喫茶室 シンフォニー 川崎市幸区矢上11-1 Tel.044-588-9688

●武蔵小杉近郊

- 喫茶店 Coffee Spot Life(ライブ) 中原区上小田中6-22-13 Tel.044-722-0024
紅茶専門店 Tea House ローズマリー 中原区小杉町70-4 Tel.044-733-1076
カフェ フォレストコーヒー 小杉サライ通り店 中原区今井南町428-9 Tel.044-819-8822

●東横線沿線

- 調剤薬局 オレンジ薬局川和町店 横浜市都筑区川和町1218-1F Tel.045-929-1005
調剤薬局 駒沢通り薬局 東京都目黒区中央町2-40-8 Tel.03-6412-7318
写真 PHOTO SHOP 銀嶺 東京都港区六本木7-8-4 Tel.03-3408-5406
カフェレストラン カンファーマツリー 横浜市中区海岸通1-1横浜貿易協会ビル Tel.045-211-2200

※上記サポーター記載は無料です。

M MAGAZINE 発行人:塚田親一 発行音楽好きな友の会 〒1100304 川崎市中区井田中ノ町33-7 森アルケファクトリー内 TEL 044-797-2430

2018-3-18-800 PrintingRk



April

MAGAZINE

●Motosumiyoshi●Music●Mate●Meet●Memories

2018 4月号

4月1日(日) 13:30~
4月15日(日) 13:30~
音友レコード倶楽部
場所イダカフェ

4月17日(火) 12:10~
ランチタイム
ロビーコンサート
場所川崎市生涯学習プラザ

4月23日(月) 13:00~
ママのおひざで聴く
ヴァイオリンコンサート
場所イダカフェ

イダカフェさよなら祭

4月6日(金) 19:00~
元住吉の気軽な音楽会
街角投げ銭ライブ
場所イダカフェ

4月13日(金) 19:00~
最初で最後の
イダカフェシネマ館
場所イダカフェ



Phil Woods(フィル・ウッズ):マサチューセッツ州スプリングフィールド生まれ。マンハッタン音楽学校やジュリアード音楽院で学びながらジャズピアニストであり作曲家であるレニー・トリスターノに大きな影響を受けた。卒業後すぐにビバップのサクソフォーン奏者として認められ、キャンボール・アダレイやソニー・ステットと同様に偉大な先達チャーリー・パーカーの後継者と目された。1968年渡仏、The European Rhythm Machineを結成し録音を残した。1972年には再びアメリカに活動の場を移した。ジャズではないが、彼を有名にしたポップ・ミュージックの録音としてビリー・ジョエルの「素顔のままで(Just the Way You Are)」でアルトサクソフォーン・ソロがあげられる。その他ステイラー・ダン、ポール・サイモンとも共演している。ウッズは自身の録音で7回グラミー賞にノミネートされ、4回グラミー賞を受賞した。

田島華乃のお知らせ

ヴァイオリンとピアノで開催!
ママのおひざで聴く
ヴァイオリンコンサート

4月23日(月)
開催時刻:①13:00~14:00 ②14:30~15:30
コンサートの前後はちびパイオリン体験コーナーです。
★参加費 親子1組:2,500円(追加1名1,000円)

4月はラフマニノフ



月に1度、イダカフェで行っている「ママのおひざで聴くヴァイオリン」。本格クラシック曲を聴いてもらう事もとても大切にしているの、コンサートでとりあげる作曲家についてお話し



●田島華乃

●お問い合わせ・お申し込み
音の家otonoya
https://otonoya.jimdo.com/

会場:イダカフェ
元住吉駅から徒歩10分



●ピアノ:片山祐子

成功させグリンカ賞を勝ち取ったことで作曲家としての名声を確立させました。という訳で、4月の親子コンサートでは、ピアノの曲が有名な彼の、ソプラノ歌手のためにかいたヴォカリーズという曲をお届けしようと思います。とても綺麗な旋律ですよ。お楽しみに!

川崎市生涯学習プラザ

第65回
ランチタイムロビーコンサート

2018年4月17日(火) 12:00開場/12:10開演/12:40終演予定/料金:無料
どなたでも気軽に音楽を楽しめるアットホームなコンサート

- 出演: 楽と幅広く活動。そして「みその音楽教室」を運営。昨年はロビーコンサートを、群馬県、栃木県、福島県(福島市市制110周年記念事業)、熊本県、福岡県、京都府で行う。
●曲目: ピアノ
・楽興の時 3楽章(シューベル)
・亡き女王の為のパヴァーヌ(ラヴェル)
・亜麻色の髪の乙女(ドビュッシー)

- ギター
・禁じられた遊び(不詳)
・ニュー・シネマ・パラダイス(エンリオ/アンドレア・モリコーネ)
・メヌエット(ビゼー)

●お問い合わせ
(公財)川崎市生涯学習財団
総務室企画情報係
ロビーコンサート担当
TEL 044-733-5811
E-mail:concert@kpa.or.jp
川崎市中区今井南町28-41



イダカフェ&クールダウンJ

イダカフェさよなら祭
元住吉の気軽な音楽会
街角投げ銭ライブ
IN IDACAFE



4月6日(金)
19:00~
【料金】無銭飲食代
浅井晴香(ボーカル)
永瀬 晋(ギター)
牧野公美(キーボード)
松波陽介(ベース)

★浅井晴香プロフィール★中学、高校ではガールズバンドで活動する。大学ではラテン音楽同好会に所属し、ブラックミュージックに目覚める。会社員をやりながら、ブルースセッションに混ぜてもらい歌う日々を送る。2015年マーサ三宅先生のボーカルハウスに入学。ジャズシンガーEIKO(ボーカルハウス講師)瀬上英子氏に師事。愛知県出身で、愛称はハルです。愛あふれるハレルヤな歌声をお楽しみに♪

●お問い合わせ
イダカフェ
E-mail:info@ida-cafe.com

クールダウンJ. さよなら祭
最初で最後の「イダカフェ・シネマ館」
4月13日(金)19時スタート
入場料:無料(飲食代別)
Bmmフィルムにこだわった映像制作集団「アナドム」の作品。
そして、個人映画の「カスマ」(はしのあきら)の1作目の3本を上映します。
スターウォーズだけが映画じゃない。もはやアンダーグラウンドとは言わない。
現代美術には相手にされないが、これは全身全霊で観る「映画」なのだ。
意味を問わず「面白い」「面白くない」。全てはあなたにゆだねます。
イダカフェの最後を飾るか? 作家自身の映像作品を上映します。

「音楽好きな友の会」から移転のお知らせ!!

「井田小」正門前から
「元住吉」駅前!



▲東急東横線「元住吉駅」西口を出てすぐの銀行の先、くだもの屋さん「フルッコ」の2階です!

音楽好きな友の会
入会のお申込み、問い合わせは ontomo.jp
090-9398-2889 (担当:塚田)

4月15日(日)の「音友レコード倶楽部」を最後に、今まで親しんでいたイダナカ商店街の「イダカフェ」が4月20日をもって建替えの為閉館になります。天井が高く響きがあり「ホールサウンドが十分に表現が出来るステキなカフェ」として、クラシックからジャズまでの演奏会場をこなし、また元住吉のアーティストの拠点になりましたが非常に残念ですが閉館となります。5月6日(日)の第1日曜日開催から元住吉駅前「フルーツショップ・フルッコ2階」で開催になります。ぜひご期待ください!!



金曜日の夜は、元住吉、井田小学校正門前のジャズ喫茶で!!
音響装置はKT-88/6L6の真空管アンプで、暖かな音色がより疲れを癒します。
元住吉駅西口下車、ブレイメン通りを抜け徒歩12分。井田小学校正門前

★ ida cafe Friday Night ★
Cool Down-J.



ソウリーヴ・ミュージック・スクール
SouleaveMusic School
http://souleave-music.com/
元住吉駅徒歩3分、武蔵小杉駅徒歩13分
チケット制 音楽教室 Tel 044-750-8992
AM8:00/PM22:00start

フォレストコーヒー
イダナカ商店街店&サライ通り店
中原区井田中ノ町33-1リエール住吉1F
TEL:044-754-1156 Open:9:00~20:00(休:水曜日)

ゆうき亭
ブレイメン通り商店街、鉄板焼き
中原区木月1-28-16 TEL:044-434-6999
ランチタイム:11:30~15:00 ディナータイム:17:00~22:30
(LO 22:00)(休:火曜日)

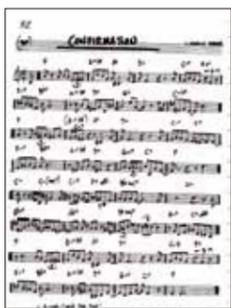
モトスミ Jazz Night ●モトスミJazz Night委員会HP
http://motosumijazznight.org/ ●Tel:050-5275-5740

連載19 私とジャズ 松波陽介

Confirmation

新年度も始まり新たな生活をスタートされた方も多いかと思... 春は新たな出会いもあるし、なんだかワクワクする季節ですね。僕は今年にはどんな音楽に出会い、どんな人と出会うのかと... 非常に楽しみにしています!

サクソが不調のため、ソプラノサクソ、フルートの練習に専念しているのですが、楽器を鳴らすこと、正確な音程で演奏することがいかに難しいかということを感じて... 練習場所が快適になると言うことであります。管楽器奏者にとって練習場所の確保ということが常につきものになり... 僕は普段多摩川の川べりで練習しているのですが、冬は本当に寒い... 時には足の感覚がなくなるくらい寒くなります。なのですが、冬はなんとなく空気が澄んでいるせいか音が非常にクリアに聞こえるような気がします。(もしかしたら寒すぎて聴覚が狂ってしまっているのかもしれませんが) そんな時に気付いたことがありました。最近ではテナー



ループのレッスンで習っていました。とにかくその頃から練習嫌い(今も練習嫌い)は変わっていませんが... 先生の頭を悩ませる種であったと思います。毎回のレッスンを隣の人の演奏しているのを聞きながらこなし、その場を凌いでいました。(その場凌ぎもこの時から全く変わっていません...) しかしながら、この時に習得したことは非常に大きかったと思っています。それは『音感が養われた』という作業に非常に悪戦苦闘してあります。何か新たな楽器に挑戦しているような感覚でした。ちなみに僕が初めて『楽器』に触れたのは小学生の時、その時はピアノをグ

があったせいか、自慢ではありませんが毎回満点でした。そのおかげで、なんとなくではありますが大体の曲のメロディーはサクソで演奏することもできますし、簡単にはありませんがコードを取ることもできるようになりました。しかし今回のソプラノサクソの件で感じたことは、やはりそのような感覚を掴むためには一定の訓練が必要だし、努力をしなければならぬということでした。ヨーロッパのことわざで「ローマは1日にしてならず」という言葉がありますが、本当にその通りです。

今年度は新たなことにももちろん挑戦、トライしていこうとは思いましたが、これまでやってきたことを今一度確認しながら過ごしていきたいと思... 今年度どうぞよろしくお願いいたします!



連載16 4ビートに首ったけ

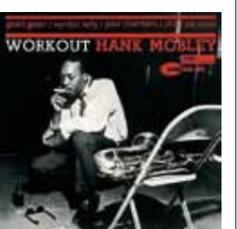
優しい音色のテナーマン。ワンホーンの演奏で本領発揮!

考えてみたら、いわゆるジャズの巨人達の演奏をあまり聴いていないんですよね。マイルス・デイヴィスについては全く詳しくないし、ジョン・コルトレーンのCDは3枚しか持っていない。セロニアス・モンクに至っては1枚も持っていません。じゃあ一体何を聴いているのかと言うと、巨人達の次の2番手グループのミュージシャン達、例えば、このコラムの第1回のドナルド・バード、第8回のジャッキー・マククリーンなどこら辺のミュージシャンが大好きです。彼らは、新しい時代の潮流を作ったり、唯一無二の個性を持っていたりする訳では無いのですが、その時代の普通の(?)ジャズをゴキゲンに演奏してくれるミュージシャン達だと思っています。難しい事は抜きにして、聴いていて、単純に楽しいですよ。今日もそんなミュージシャンのひとり、ハンク・モブレイを紹介させていただきます。

ハンク・モブレイは1955~6年頃、ハードバップの創成期にアート・ブレイキーとジャズ・メッセン

ジャズの一人として活躍しました。また、ブルーノートレーベルの1500番台だけでも6枚のリーダー作を残しています。その他にも2管編成や3管編成でバリエーションの典型的なハードバップのセッションを繰り返しています。ただ、今回ご紹介したいのはワンホーンのアルバムなんです。何故かと言うと、彼の良さは柔らかく暖かいトーンと癖の無いスムーズなフレーズだと思... どうしても弱く感じてしまう。例えば、「A BLOWING SESSION」<BLP-1599>ではリー・モーガン(tp)、ジョニー・グリフィン(ts)、ジョン・コルトレーン(ts)と吹きあっているのですが、華麗なりー・モーガンや豪快なジョニー・グリフィンの陰になってしまい、いまいちなんですよ。そこで、一番のお勧めは彼が心置きなく自由にプレーしているワンホーンのアルバムとなるわけ... ます1曲目は「SOUL STATION」(写真①)。1曲目「REMEMBER」の出

だしのワンフレーズで痺れますよ。優しく包み込むようなテナーの音色は彼独特の音ではないでしょうか?このアルバムは全体的にスローからミディアムテンポの曲が多く、ワンホーンで伸び伸びと吹いています。2曲目からはオリジナルのブルースが続くのですが、彼が吹くブルースさえ優しいラブソングに聴こえてきそう。最後の曲「IF I SHOULD LOSE YOU」は1曲目と並び、彼の良さが全面に出ていてお勧めです。また、軽快なウィント



▲Hank Mobley / Dipin

ン・ケリーのピアノ、ソウルフルなグラント・グリーン... 最後にもう1枚ご紹介... ワンホーンでは無いのですが、1965年録音の「DIPPIN」(写真③)です。ハンク・モブレイの名前を知らなくても2曲目「RECORD BOSSA NOVA」は聴いたことがあるのではないのでしょうか? 「THE GIFT」と言う別のタイトルでジャズのスタンダードになっているステキな曲です。キラキラしたリー・モーガンのトランペットに押され気味ですが、いつ聴いても爽快な演奏ですので、是非聴いてみて下さい。

肩の力抜いて、ジャズを楽しむ時にハンク・モブレイはうってつけのミュージシャンだと思います。ジャズを聴き始めた方にもきっと気に入っていただけるんじゃないかな?かなりお勧めです。では、楽しいジャズライフ!

2曲目はその約1年後に録音した「WORKOUT」(写真②)。ゆったりとした「SOUL STATION」に比べると、ややスピード感と緊張感が増しているようです。ギターにグラント・グリーンを迎えソウル色も加わっています。1曲目のタイトル曲「WORKOUT」のカッコ良さはどうでしょう!歯切れの良いテーマ、スムーズなモブレイのテナー、疾走す

わかりやすい言葉が他にないか考えてみたのですが、「ツアー」「演奏旅行」というのもポップスだと少々堅い感じもします。私たちの活動は、堅苦しいことなく気軽に足を運んで頂きたいという思いもあります。これからの季節、演奏のための遠出にふさわしい言い回しはないものでしょうか。



▲Hank Mobley / Workout

音友会 2018年2月音友会

グルービーなジャズ・カフェ

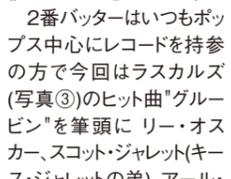
相変わらず寒い日が続く中、ジャズ・カフェ店内はホットな状態が続いています。

トップバッターの方は、デジー・ガレスピーの「グルーピング・ハイ」という曲を2大アルト・サクソ奏者のアート・ベッパーとフィル・ウッズの聴き比べをしたいとCDを持参しました。

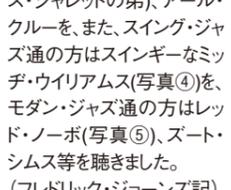
「アート・ベッパー・プラス・イレブン」(写真①)はマーティ・ペイチがアレンジ、「フィル・ウッズ/グルービン」(写真②)はフィル・ウッズがマーティ・ペイチに奉げたものという事で2人のアルト・サクソ奏者とマーティ・ペイチがらみの作品です。比較して聴くとアート・ベッパーはサクソの音色を生かした綺麗な音で丁寧に吹いているのに対し、フィル・ウ

ズはパーカー派の奏法特色が、あいだあいだに出てサクソ特有のアバンギャルドな音を含んでいる感じで見事に音色、奏法が異なる事が理解できました。ここでマーティ・ペイチとアート・ベッパーの関係を話しておく、当初はマーティ・ペイチのリーダーアルバムにアート・ベッパーが参加した事がきっかけとなっている様です。「アート・ベッパー」(写真①)はアート・ベッパーがマーティ・ペイチにアレンジを依頼し完成したアルバムですが、2人はこれ以降も良好な関係を継続し何か演奏の機会ある度に今度はマーティ・ペイチがアート・ベッパーに参加依頼をしていた様です。2人の共演アルバムの中で一番有名なのは、

マーティ・ペイチの小規模編成オーケストラの2枚のアルバム「The Broadway Bit」(踊り子)、「I get a boot out of you」(お風呂)と呼ばれている作品は一聴の価値あるものと思われ... 2番バッターはいつもポップス中心にレコードを持参の方で今回はラスカルズ(写真③)のヒット曲「グルービン」を筆頭にリー・オスカー、スコット・ジャレット(キース・ジャレットの弟)、アール・クルーを、また、スイング・ジャズ通の方はスインギーなミッチ・ウリアムス(写真④)を、モダン・ジャズ通の方はレッド・ノーボ(写真⑤)、ズート・シムス等を聴きました。(フレドリック・ジョーンズ記)



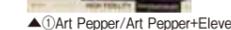
▲②Phil Woods / Groovin'



▲③Time Peace / The Rascals



▲④Midge Williams and Her Jazz Jesters



▲①Art Pepper / Art Pepper+Eleven

ヴォーカルとピアノ・トリオは全く聴かないという『超こだわり派』です。「こういう方も居るので今年こそヴォーカルにチャレンジしてみたら?」とmailしようと思... さて、私はヴォーカルを聞く比率はインストゥルメンタルを5枚聴くとしたら次の1枚はヴォーカルでしょうか。評論家大橋巨泉氏の言葉に「歌詞がわからなければヴォーカルはわからない」とありますので歌詞にも留意しています。そしてLEDの照度を下げパーソナルチェアに座り音量を抑えて聴くのがルーティンです。(K.T記)

のアルバムからベースの弾き語りや聴きました。自宅に戻りYouTubeでトリオの演奏を映像で観てみました。単に美人ベーシストの弾き語りや珍しいのではなく、実力者と感じ今後着目してゆきたいと感じました。これら幅広い最新情報を提供していただいたD.Jの方に感謝いたします。大学時代からジャズ・ビックバンドでトロンボーンを奏していたD.Jの方は、邦題「青い影」を唄うヘイリー・ロレンにハマってからヴォーカルを本格的に聴くようになり、まだ3年程度と言われていました。ジャズ歴50年を超える私の中学の友人もアルトサクソ吹きですが、



▲③Dreamer in Concert / Stacey Kent

▲④Black Coffee / Nicki Parrott

女性ヴォーカル三昧の一日でした

日差しはあるものの寒い屋下がりでしたが、イダカフェ内は女性ヴォーカルの美しい歌声が絶える事なく響いていました。初参加3人を含め11人の方がそれぞれゆったりとくつろぎ、ヴォーカルに耳を傾けておられました。持ち寄りタイムではカーメン・マクレエ、サラ・ヴォーンのピクスターが登場。特集では一転して現代活躍している7人のアーティストのアルバム紹介がありました。今はどんなヴォーカリストが活躍しているのか興味津々でしたが、どのアルバムもとても素敵でした。中でもリザ・ヴァー

ラントが唄う「Stay A While」(写真①)、ジェーン・モンハイトが唄う「Just Squeeze」(写真②)が印象に残りました。また、イギリスで活躍するステイシー・ケントの「Dreamer in Concert」(写真③)の挿入曲に、ノーベル文学賞受賞のカズオ・イシグロ氏が作詞したものがあったことや、オーストラリアで活躍するニッキー・パロットは、あの伝説的ギタリスト、故レス・ポール・トリオのベーシストをでありレス・ポールに勧められ歌い始めたお話は初耳でした。イダカフェ内では「Black Coffee」(写真④)



▲①Stay a While / Lisa Wahlandt

▲②In the Sun / Jane Monheit

音友レコード倶楽部 ONTOMO Music Record Club 4月15日の Jazz Date SWINGIN' VALSE TIME 日溜りの中、ワルツタイムのジャズを聴く。

Essay 「くじら座」日記 牧野くみ

遠征について

くじら座のピアノ担当牧野くみです。つい先日新年が始まったばかりなのに、もう4月号を迎える頃なんですね。暖かくなるにつれて色々な場所、特に野外でのライブ活動がどの地域でも活発になる頃です。先日くじら座は静岡県藤枝市にて開催された野外イベントに出演させて頂きました。風が強くて大変でしたが、広い会場でも高い空の下での演奏はとても気持ちよかったです。私は近頃ライブ活動を行って気になることが

あります。「遠征」という言葉を最近よく耳にします。ミュージシャン自身が普段の拠点を離れて演奏を行うこと、またお客様側から、お目当てのミュージシャンの演奏を聴くため遠出することを指すため使う場合があるようです。もちろんみなさんポジティブな意味で使われているのですが、私は「遠征」という言葉に対して、「誰かと戦ったり誰かを倒すためにライブをするわけではない」と抵抗を感じています。「征する」という言葉のイメージでしょうか。少し飛躍しますが、

登山でも「遠征」という言葉を使っているのによく見かけます。それに対して私は、人間が自然を征するという概念は鳥崎がましいのではないかと、感じてしまうのです。音楽も、演奏させて頂く場所や地域、その地域で生活や活動する方への敬意を必ず心に留めなければいけないと思っています。

Essay Addicted to Guitar-4 永瀬 晋

弦の太さの話

お世話になっております。今月もまたギターを始めたい方にお勧めなギター小ネタをソウリーヴ・ミュージック・スクール永瀬がお送りいたします。ギターという楽器は実際始めてみると色々なパーツ、アクセサリーの豊富さに楽しくなってしまう方が多いと思いますが、今回は弦について紹介していきたいと思... 一言でギターを弾くと言っても材質にかなりの種類がありまして、大きく分けると

①クラシックギターのガット、ナイロン弦。②フォーク、アコースティック、エレキギターの金属弦。となっておりそれぞれ材質の違いにより音が違いますが、更に金属の種類でも音が微妙に変わります。(ステンレス、ニッケルなど)更に材質も種類があれば、太さにも種類があります。一般的に太ければ太いほど張力が強くなり弦を押さえるには力が必要ですが、音量が大きくなり、和音の響きが豊かになります。逆に細いと張

力が減り弦が押しやすくなり、太い時と逆に音量が減衰しますが、音の伸びる時間が長くなる傾向にあります。それぞれ長所短所もありますが、初心者の方にはやはり細い弦がお勧めで、このセッティングでギターに慣れていただくのをお勧め



▲Guitar strings